



イラスト・三浦良一

### NY日本人教育審議会 保護者説明会開催

## 売却交渉再開に理解求める

### 「放火事件未解決が不安」保護者

ニューヨーク日本人教育審議会(坂本和彦会長)は3月27日午前、グリニッチのニューヨーク日本人学校で同校校舎売却と一部施設のリースバックに関する契約交渉の現状と今後の進め方について保護者対象の説明会を開催した。保護者約80人が参加した。

審議会側からは、坂本会長(丸紅米国会社社長)はじめ、理事会役員(西條温氏(米国住友商事社長、日本クラブ会長)、桜井本篤氏(米国三菱商事社長、ニューヨーク日

本商工会議所会頭)、成松洋氏(東京海上火災保険(みずほコーポレート銀行常務執行役員米州地域統括)、審議会事務局か

ら松村成彦氏が出席した。日本政府を代表しニューヨーク日本総領事館の井上恵嗣領事が出席した。管理委員会から鹿島浩二氏、中村学司氏が出席した。

冒頭で坂本会長が保護者に対し、まず放火事件に対するお詫びを述べた。続いて教育審議会の役割と構造について説明

した。このあと契約交渉についてこれまでの経緯に触れながら、交渉の現状、今度の進め方、残された課題などについて報告があったあと、会場の保護者からの意見や質問に応答した。

保護者からは「放火事件が解決していない現状で、売却交渉を再開するのはさらに深刻な事態を招きかねない」「一人の命にかかわることなので慎重に願いたい」という意見が複数の保護者から出された。坂本会長は一犯人が捕まっていない以

ビザの最新情報メールで無料配信  
シエラ・スノー・法律事務所  
電話 212-921-1111  
www.jpoanlaw.com/  
lpo/m/ahntml.jp

上、次の放火があるのじゃないか、と言われればノーとはいえない。それを考えると逡巡(しゅんじゆん)するが、警備を強化して今できることを現実に進めていきたい。相手がある交渉なので不幸にしてブレイクすることもあるかもしれないが、まとめるべく交渉していきたい。ベストではないがベターな解決だと思ふ」と交渉再開への理解を求めた。説明会は保護者の質問や意見が相次ぎ、予定を30分延長した。(説明会要旨12面に)

ニューヨーク日本人教育審議会(坂本和彦会長)は3月27日午前、グリニッチのニューヨーク日本人学校で校舎売却と一部施設のリースバックに関する契約交渉の現状と今後の進め方について保護者対象の説明会を開催した(2面に記事)。

契約交渉のこれまでの経緯について、2002年3月のニュージャーシ校との統合決定後、2003年3月に坂本会長が就任した時点で、生徒の減少が予想を超えるスピードで進んでいることがわかり、統合しても当初の目標を達成できないと判断。しかしこのままの状態を続ける限り赤字は無くならないとして売却に方針変更したと説明した。

価格については、現在の交渉先との値段2000万ドルで売ると9000万ドルの売却益が出る。1991年に2350万ドルを拠出して購入した校舎の支払い内訳は、建物に800万ドル、土地に200万ドル、改修工事に約1300万ドルがかかったと説明した。

財務状況について、予算は2004年度収支で授業料、企業からの寄付金、政府補助金を合わせ550万ドルの収入に対し、支出は640万ドルで90万ドルの赤字。01年の黒字を最後に02年度以降3年連続の赤字で累計で200万ドルの赤字となり、06年度は300万ドルの累計赤字になることが予想されている。と審議会の苦しい台所事情を報告した。

坂本会長は、売却価格、条件、リース契約について説明した後、校舎の共同使用による教育上の観点から改善要求を出して90万ドルの赤字。01年の黒字を最後に02年度以降3年連続の赤字で累計で200万ドルの赤字となり、06年度は300万ドルの累計赤字になることが予想されている。と審議会の苦しい台所事情を報告した。

## NY日本人学校校舎売却交渉

# 保護者説明会概要

点からの課題などにも触れた。

保護者からリースバックした場合施設のモザイク状での共有が可能なか、相手がどういう学校なのか分らないので不安だと訴える声もあった。

3月6日の学校主催による説明会の際には、買手側から日本人学校にたいし「生徒が210人を超えないように」という上限条件を下ラフト段階で付けられたことがブロシエクターのスクリーンに大きく映し出されて指摘され、「日本人学校

側から改善要求を出して90万ドルの赤字。01年の黒字を最後に02年度以降3年連続の赤字で累計で200万ドルの赤字となり、06年度は300万ドルの累計赤字になることが予想されている。と審議会の苦しい台所事情を報告した。

坂本会長は「どこから全な学校経営の収入源とならないか、作業超えて生徒を増やせないというのでは積極的に生徒募集するどころか生徒は激減の一途をたどりか

現状で、少なくとも相手側と210名以下でなければならぬとはなっていない。これは明確だ。ただ相手側にも年々人数が増加するということがはつきりしているのだからどこで相手の人数を出てくる。最大の問題は450人の全体の移動点だ。市の方で450人を増やすということが全くないということではない」と答えた。

相手側から提示されているドラフトには210人枠が盛り込まれている。以上、相手がノ1といつた場合のこちらの出方にどうなるのか、と具体的なアイデアについては言及しなかった。

生徒を増やすことが健康という問題を打開すべく、市当局に審議会はかけあつたのか」という質問も出された。松村事務局長が答弁に立ち、「借用校の家賃は年間で4万ドルで半額を政府から出してもらっている。日本入学校で補習校用に校舎を開放しても年間2万ドル程度の節約にしかならないので、売却交渉の段階で、補習校と一緒にする気はなかつた」と答えた。

「審議会の事務局長はこれまでの任中に何回も市に足を運んだのか」との保護者からの質問に「小川修理のためには10回くらい行ったことがありますがゾーニングについては「父兄には一番最後の報告なんです。もうこの交渉はキャンセルがな

「父兄には一番最後の報告なんです。もうこの交渉はキャンセルがな

「審議会の事務局長はこれまでの任中に何回も市に足を運んだのか」との保護者からの質問に「小川修理のためには10回くらい行ったことがありますがゾーニングについては「父兄には一番最後の報告なんです。もうこの交渉はキャンセルがな

「父兄には一番最後の報告なんです。もうこの交渉はキャンセルがな

「審議会の事務局長はこれまでの任中に何回も市に足を運んだのか」との保護者からの質問に「小川修理のためには10回くらい行ったことがありますがゾーニングについては「父兄には一番最後の報告なんです。もうこの交渉はキャンセルがな

「父兄には一番最後の報告なんです。もうこの交渉はキャンセルがな

「審議会の事務局長はこれまでの任中に何回も市に足を運んだのか」との保護者からの質問に「小川修理のためには10回くらい行ったことがありますがゾーニングについては「父兄には一番最後の報告なんです。もうこの交渉はキャンセルがな

「父兄には一番最後の報告なんです。もうこの交渉はキャンセルがな

「審議会の事務局長はこれまでの任中に何回も市に足を運んだのか」との保護者からの質問に「小川修理のためには10回くらい行ったことがありますがゾーニングについては「父兄には一番最後の報告なんです。もうこの交渉はキャンセルがな

「父兄には一番最後の報告なんです。もうこの交渉はキャンセルがな

「審議会の事務局長はこれまでの任中に何回も市に足を運んだのか」との保護者からの質問に「小川修理のためには10回くらい行ったことがありますがゾーニングについては「父兄には一番最後の報告なんです。もうこの交渉はキャンセルがな

「父兄には一番最後の報告なんです。もうこの交渉はキャンセルがな